

スポ協 TOYAMA

特別国民体育大会 バドミントン 国体6連覇!



バドミントン 成年男子 団体
荒木純監督、金子真大選手、大林拓真選手、高橋洸士選手

写真提供:北日本新聞社

CONTENTS

特別国民体育大会
富山県民スポーツ応援団
富山から世界へ
未来のアスリート発掘事業
令和5年度富山県スポーツ協会表彰
第33回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会
日独スポーツ少年団交流事業
第76回富山県民体育大会

Enjoy!スポーツとやま2023
富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
地域スポーツ推進事業
総合型地域スポーツクラブ紹介
公認スポーツ指導者協議会
加盟団体紹介
令和5年を振り返って 富山県高等学校体育連盟
令和5年を振り返って 富山県中学校体育連盟
令和5年度富山県スポーツ協会役員

Vol. 32
2024

特別国民体育大会



＝総評＝

公益財団法人富山県スポーツ協会会長
特別国民体育大会
富山県選手団 団長

新田 八朗



写真提供:北日本新聞社

総合開会式で健闘を誓う富山県選手団

皆様には、日頃から本協会や本県のスポーツ振興にお力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

さて、特別国民体育大会は、昨年1月～2月に青森県でスケート・アイスホッケー競技会、2月に岩手県でスキー競技会、そして9月～10月に鹿児島県を中心に本大会が開催されました。

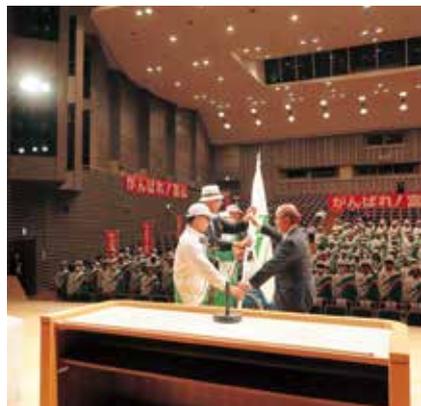
私も県選手団の団長として、本大会で監督・選手の皆様を激励し、皆様の気迫を肌で感じることができました。

冬季大会のスケート競技においては、菊池萌水選手がショートトラック成年女子1000mで優勝を果たし、スキー競技においても本県選手団が5種目で入賞を果たされるなど、幸先の良いスタートを切りました。

本大会では、バドミントン競技成年男子でトナミ運輸(株)が成年男子史上初の6連覇を達成したほか、カヌー競技スプリント少年女子K-2(カヤックペア)での深川満那、砂場彩衣佳選手の2種目優勝、カヌー競技スプリント成年女子K-1(カヤックシングル)での浦田樹里選手の優勝など11種目で上位入賞を果たしました。さらに水泳、ウェイトリフティング、弓道競技等でも好成績を残されるなど、種別を超えて選手・監督が一丸となって戦うことができたと感じています。

本協会としましては、今後とも、「未来のアスリート発掘事業」やスポーツ医・科学に基づく「TOYAMAアスリートマルチサポート事業」などに取り組み、全国・世界の檜舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、競技スポーツのさらなる振興を図ってまいります。皆様には一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県の競技力の向上に力を尽くしていただいている各競技団体をはじめ関係の皆様を重ねて感謝申し上げるとともに、選手・監督の皆様のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。



特別国民体育大会 総合成績

		冬季大会	本大会	総合成績
男女総合成績	得点	90.0点	683.5点	773.5点
	順位	16位	38位	37位
女子総合成績	得点	48.0点	528.0点	576.0点
	順位	12位	23位	25位



バドミントン成年男子は
6大会連続優勝を達成

特別国民体育大会 栄光の優勝者



スケート 成年女子
ショートトラック1000m 1位
菊池萌水 選手



カヌースプリント 成年女子
カヤックシングル200m 1位
浦田樹里 選手



バドミントン 成年男子 団体 1位
荒木 純監督、金子真大選手、大林拓真選手、高橋洸士選手



カヌースプリント 少年女子
カヤックペア200m 1位
カヤックペア500m 1位
深川満那選手、砂場彩衣佳選手

特別国民体育大会 競技別入賞

男女総合成績（天皇杯）

No.	競技名	順位
1	バドミントン	6位
2	スキー	7位

女子総合成績（皇后杯）

No.	競技名	順位
1	ボクシング	5位
2	ハンドボール	5位
3	自転車	4位
4	ソフトボール	8位
5	カヌー	7位

特別国民体育大会 上位入賞者



写真提供:北日本新聞社

スケート 成年女子
スピード1500m 3位
スピード3000m 3位
賀来真穂選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子B
クロスカンントリー10kmクラシカル 3位
清水康平選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子C
クロスカンントリー5kmクラシカル 2位
藤田紘基選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子C
アルペン大回転 3位
水口雄太選手



写真提供:北日本新聞社

スキー 成年男子
クロスカンントリーリレー 3位
富山選抜
(清水康平選手、竹原義之選手)
山崎大翔選手、宮木 凌選手



写真提供:北日本新聞社

弓道 少年男子
遠的 2位
富山選抜
(勝尾拓海選手、中嶋一郎選手、大島稜也選手)



写真提供:北日本新聞社

ハンドボール 成年女子 3位
富山選抜(株)プレステージ・インターナショナル アランマーレ



写真提供:北日本新聞社

水泳(飛込)少年男子
飛板飛込 3位
坂田 力毅選手



水泳(競泳)少年男子B
100mバタフライ 3位
森 祐太選手



写真提供:北日本新聞社

ウェイトリフティング 少年男子
96kg級スナッチ 3位
石須基甫選手



ローイング 成年女子
シングルスカル 2位
四方美咲選手

特別国民体育大会 入賞者一覧

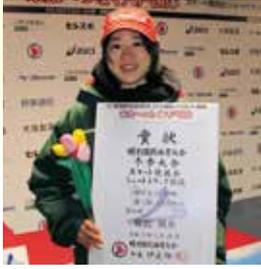
冬季大会 令和5年1月28日(土)～2月5日(日)〔スケート競技会・アイスホッケー競技会〕 青森県八戸市・南部町
令和5年2月17日(金)～2月20日(月)〔スキー競技会〕 岩手県八幡平市

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)		
スケート	成年女子	スピード 1500m	3位	賀来 真穂(ダイチ株)	スキー	成年男子	クロスカントリ-リレー	3位	竹原 義之(農研総合法人野口謙雄会)		
		スピード 3000m	3位						山崎 大翔(早稲田大学)		
	成年男子	ショートトラック 1000m	8位	秋元 航太(三洋商事株)					宮木 凌(T.A.Cスキーチーム)		
			1位	菊池 萌水(KHネオケム株)					清水 康平(株長田組)		
スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	3位	水口 雄太(南砺市役所)		少年男子		クロスカントリ-リレー	8位	山本 恵大(南砺平高等学校)	
	成年男子A	クロスカントリ-10km	7位	山崎 大翔(早稲田大学)						坂大 芳輝(雄山高等学校)	
	成年男子B	クロスカントリ-10km	3位	清水 康平(株長田組)						水口 皓仁(南砺平高等学校)	
	成年男子C	クロスカントリ-10km	2位	藤田 紘基(南砺平高等学校(教))						三島 大橙(南砺市立城端中学校)	
	成年女子B	クロスカントリ-5km	6位	林 明日香(南砺市立平中学校(講))	女子		クロスカントリ-リレー			4位	宮崎 美樹(南砺平高等学校)
			6位	山崎 彩羽(南砺平高等学校)							
				山本 茉由子(南砺福野高等学校)							
				宮木 真帆(日本大学)							

本大会 会期前:令和5年9月16日(土)～9月24日(日)、中心会期:令和5年10月7日(土)～10月17日(火)
鹿児島県一円

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)
陸上競技	少年男子B	走り幅跳び	7位	伊東 大寿(富山商業高等学校)	自転車	女子	チームスプリント	4位	富山選抜(石中・下条)
水泳	成年女子	【競泳】200m個人メドレー	8位	山川 陽菜(神奈川大学)		女子	500mタイムトライアル	6位	石中 葵(富山大学職員)
	少年男子	【飛込】飛板飛込	3位	坂田 力毅(富山国際大学付属高等学校)		女子	ケイリン	8位	下条 未悠(日本競輪選手会)
	少年男子	【飛込】高飛込	7位	坂田 力毅(富山国際大学付属高等学校)	相撲	成年男子		5位	富山選抜
	少年男子B	【競泳】100mバタフライ	3位	森 祐太(高岡商業高等学校)	馬術	成年女子	馬場馬術	5位	牧野 真弥(牧野ライティングクリエイティブ)
	少年女子A	【競泳】200mバタフライ	5位	大上詩央里(富山国際大学付属高等学校)		成年女子	標準障害飛越	6位	竹田 宏美(Hクオリティー・タケダ)
	少年女子A	【競泳】4×100mメドレーリレー	8位	富山選抜		成年女子	自由演技馬場馬術	6位	牧野 真弥(牧野ライティングクリエイティブ)
	少年女子B	【競泳】100mバタフライ	6位	中嶋 碧(南砺福野高等学校)	フェンシング	成年男子	フルーレ	6位	富山選抜
	少年女子B	【競泳】100m自由形	8位	中嶋 優(南砺福野高等学校)	ソフトボール	成年女子		5位	富山選抜
	少年女子B	【競泳】100m背泳ぎ	5位	大西 琴葉(南砺市立城端中学校)		バドミントン	成年男子		1位
	少年女子B	【競泳】4×100mメドレーリレー	6位	富山選抜	少年男子			5位	富山選抜(高岡第一高等学校)
	少年女子B	【競泳】200m個人メドレー	5位	中嶋 碧(南砺福野高等学校)	弓道	少年男子	遠的	2位	富山選抜
	ローイング	成年女子	シングルスカル	2位		四方 美咲(陽道堂ホールディングス株)	少年男子	近的	6位
ボクシング	成年女子	フライ級	5位	利根川十仁(拓殖大学)	カヌー	成年女子	(スラローム)K-1(25gト)	7位	荒城 祐佳(ゼビオ株)
バレーボール	成年女子		5位	富山選抜		成年女子	(スラローム)K-1(15gト)	7位	荒城 祐佳(ゼビオ株)
レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル71kg級	5位	上東 魁人(高岡向陵高等学校)		成年女子	(スプリント)K-1(500m)	2位	浦田 樹里(早稲田大学)
ウェイトリフティング	成年男子	61kg級スナッチ	7位	押田 真(富山製紙株)		成年女子	(スプリント)K-1(200m)	1位	浦田 樹里(早稲田大学)
	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク	8位	押田 真(富山製紙株)		少年男子	(スプリント)K-2(500m)	6位	富山選抜(酒井・藤縄)
	成年男子	89kg級クリーン&ジャーク	8位	林 昇哉(金沢学院大学)		少年男子	(スプリント)C-2(500m)	8位	富山選抜(松井・鳥取)
	少年男子	96kg級スナッチ	3位	石須 基甫(滑川高等学校)		少年男子	(スプリント)K-2(200m)	4位	富山選抜(酒井・藤縄)
	少年男子	96kg級クリーン&ジャーク	4位	石須 基甫(滑川高等学校)		少年男子	(スプリント)C-2(200m)	7位	富山選抜(松井・鳥取)
	女子	55kg級スナッチ	8位	高瀬 花(日本体育大学)		少年女子	(スプリント)K-2(500m)	1位	富山選抜(深川・砂場)
	女子	55kg級クリーン&ジャーク	8位	高瀬 花(日本体育大学)		少年女子	(スプリント)K-1(200m)	7位	晴枝 葵(魚津高等学校)
	ハンドボール	成年女子		3位	富山選抜(富山ステーション・インターナショナル・アマチュア)	少年女子	(スプリント)K-2(200m)	1位	富山選抜(深川・砂場)
アーチェリー	成年男子		8位	富山選抜					

国民体育大会優勝者寄稿



スケート競技 成年女子 ショートトラック1000m 1位

菊池 萌水
KHネオケム(株)

令和5年1月八戸で開催された特別国民体育大会ショートトラック競技1000mで優勝を成し遂げる事ができました。1000mは、1周約110mのトラックを9周滑走する約90秒間のレースですが、トップスピード下でのレース展開と持久力が要となるハードな競技です。レースの内容は、残り3周で先頭に出て、そのまま1位でゴールすることができました。

1年間トップスピードの向上を目標に掲げトレーニングを積んでおり、残り3周で先頭を滑り切るトップスピードには手応えがある状態でレースに臨むことができました。また、シーズン中で体力的に厳しいスケジュールの中での出場でしたが、体調の全体的なコンディショニングも良い状態に整えてレースに臨むことができました。夏から韓国人コーチと共に従来の3倍のトレーニング量をこなすとてもハードなトレーニングを行いました。トレーニングと休息の良いバランスを保ちながらトレーニング期を過ごすことができた成果だと思います。

日本代表遠征の日程があり1種目しか出場できませんでしたが、その種目で優勝を果たし、日頃からご支援、ご指導をいただいている富山県スポーツ協会の皆様をはじめ、県民の皆様へ成果と言う形で恩返しができたと感じ、とても嬉しかったです。

日頃よりスケートで世界を目指し一流のトレーニングを積む環境を与えてくださりありがとうございます。また、応援をいただいた県民の皆様にも心より感謝致します。

かごしま国体優勝

カヌー競技 スプリント 少年女子 カヤックペア200m 1位
カヤックペア500m 1位

深川 満那
富山北部高等学校3年

燃ゆる感動かごしま国体において、私たちは500mと200mの両種目で優勝し、高校最大の目標としていた国体2冠を達成することができました。これまで多くの方に沢山の応援をいただき、深く感謝しております。

この国体は、ペアの相方の砂場とともに出場する最後の大会だったため、悔いのないレースをするように努めてきました。カヌー競技は、1人でのレースもありますが、今回の国体で出場したペア種目をはじめ、4人乗りのフォア種目もあるなど、チームボートでは個人のスキル以上に大切なことが多く求められると思います。今回の国体に関しても、ペアでの出場だったため、相方とともに二人で気持ちを高め合いながら練習に取り組み、その志のままレースに挑むことができたので良かったです。レース直前には2人で、「必ず優勝しよう」と声を掛け合い、不安を無くすことで、自信をもってスタートラインに立てました。

500mのレースでは、これまで何度も何度も練習してきた、私たち独自のラストスパート法である「2段階上げ」が上手くいき、インターハイで優勝したクルーが乗っているチームと0.1秒の差で勝つことが出来ました。ゴール直後は僅差のあまり、順位が分かりませんでしたが、ビジョンに「優勝」が映し出され、勝ちが分かった瞬間、これまで味わったことのない感動がありました。

500mで優勝はできたものの、本来、私たちが得意としていた200m種目でも優勝できるか不安になった時間もありましたが、私たちがやってきた練習の量と内容を信じ切り、自信を持ってレースに挑みました。スタート直後には、一瞬、他県のクルーに前に出られましたが、焦らずに最後まで漕ぎました。200m種目でも0.1秒の差で優勝でしたが、ゴール後には勝ったと確信することができ、2冠の喜びを瞬時に感じる事ができました。全てを信じ、漕ぎきることができて本当に良かったです。そして、応援に駆けつけてくださった県スポーツ協会の皆さんも含め、「チーム富山」全員で戦い抜いた結果、カヌー競技の皇后杯でも7位に入賞することができ、チーム全員で喜びを共有することができたのも本当に嬉しかったです。全員で勝つということの素晴らしさをカヌー競技から学ぶことができました。

高校カヌーを有終の美で締めくくることができたのも、粘り強くご指導してくださった先生方、ともに頑張ってきた仲間、そしてずっと応援してくれていた家族がいたからです。本当に感謝しています。そして一緒に戦ってくれた砂場さん、3年間本当にありがとう。

私は大学でもカヌーを続けます。全日本インカレの決勝で戦える力を身につけ、国体では成年としてチームに貢献できるようこれからも頑張っていきたいです。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

高校卒業後は大学に進学し、ますます厳しい世界となります。高校時代にカヌーから学んだことを生かし、より一層の努力を重ねることで成年の舞台でも戦っていける力を身につけたいと思います。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



本人提供

二冠達成

カヌー競技 スプリント 少年女子 カヤックペア200m 1位
カヤックペア500m 1位

砂場彩衣佳
富山北部高等学校3年

燃ゆる感動かごしま国体カヌー競技少年女子カヤックペアにおいて、500mと200mの2種目で優勝することができました。

これまで、「国体優勝」を常に目標に掲げて、厳しい練習に取り組んできましたが、大会直前になってもなかなか調子が上がらず、不安な状態で会場入りをしました。そんな中、レース前日に監督の松崎先生から、「力を入れるタイミングをキャッチした瞬間に合わせるように」と言われ、そのアドバイスで調子を取り戻すことができ、自信をもってレースに挑むことができました。500m種目の予選を終えた時点で、私たちのタイムは全体で暫定の2番、トップと2秒差でした。しかし、「決勝では絶対に勝って優勝する」という強い思いをもち、毎回のルーティンであった『頑張ろう!』の掛け声でさらに士気を高め、自分たちを奮い立たせました。レースでは、スター

トでの集中、中間での落ち着き、ラストでの2段階上げという何度も練習してきたレース展開を完成させることができ、0.1秒差という僅差で勝利を掴み獲りました。200mのレースでは、私たちのレース直前に、成年女子の浦田樹里さんが優勝したとの知らせが入り、富山県チームの良い流れに乗って私たちも優勝しようと意気込みました。その時の私は不思議と緊張があまり無く、平常心でいることができました。そして200m種目でも、同じく0.1秒差で優勝を勝ち取ることができ、この上ない結果を得ることができました。

国体の直前にあった富山県の結団壮行式では、多くの応援メッセージを頂き、あの雰囲気で大変勇気づけていただきました。そして、今回の2冠の結果を自分の事のように喜んでくださる多くの皆さんの姿を見て、本当に多くの方々に支えていただき、今回の結果に繋がっているということを感じることができました。改めて、心から感謝しています。

高校卒業後は大学に進学し、ますます厳しい世界となります。高校時代にカヌーから学んだことを生かし、より一層の努力を重ねることで成年の舞台でも戦っていける力を身につけたいと思います。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

第19回アジア競技大会入賞者

2023年9月23日～10月8日の間、中国(杭州市)で第19回アジア競技大会が開催されました。県勢はハンドボール競技女子で金メダルを獲得した大松澤選手をはじめ8競技に18名がエントリーし、金2、銀4、銅5の計11個のメダルを獲得しました。今大会では実績を積んだ選手の活躍に加え、若手選手の躍進も見られ、来年に迫ったパリオリンピックに向けて期待が膨らむ結果となりました。

金メダル

水泳競技 水球 男子
ハンドボール競技 女子

銅メダル

稲場 悠介選手
北原 佑美選手
犀藤 菜穂選手
笠井千香子選手
大松澤彩夏選手

水泳競技 競泳 男子1500m自由形
バドミントン競技 女子シングルス
女子団体
男子団体

竹田 涉瑚選手
大堀 彩選手
大堀 彩選手
保木 卓朗選手
小林 優吾選手
常山 幹太選手
森田 駿哉選手

銀メダル

ホッケー競技 男子

山下 学選手
加藤 凌聖選手
河邊 皓星選手
稲場 朱里選手
田中 笑伊選手
石田 昂選手

野球競技 男子

水泳競技 水球 女子
ラグビー7人制競技 女子
陸上競技 混合団体35km競歩

アジア競技大会優勝者寄稿



ハンドボール競技 女子 大松澤 彩夏

10月に中国の杭州で開催された第19回アジア競技大会に出場させていただきました。私は、8月に広島にて開催された2024年パリオリンピックアジア予選大会には不参加でしたので、久しぶりの代表招集でもあり緊張感をもって合宿から参加いたしました。

事前合宿では、ほとんどのメンバーがオリンピック予選で悔しい思いをしていたので、雰囲気はいつもの合宿よりネガティブな様子に思えました。私も少し気を使いながら、よそ行きのようにトレーニングしていました。大会前の選手だけのミーティングで、未だオリンピック出場のチャンスはあるのだからポジティブに日本代表として誇りを

持ち8月のリベンジを果たしましょうと参加選手が決意を新たにしてからは、一挙にチームも盛り上がり「ONE TEAM」となることができました。順調に予選を勝ち上がり、準決勝もカザフスタンに大勝して、決勝はオリンピック予選では1点差で敗戦した韓国との戦いでした。

立ち上がりからディフェンスが安定し、ゴールキーパーの活躍もありディフェンスから速攻の日本の持ち味を出すことができ、10点差をつけてアジア競技大会初優勝。金メダルを獲得することができました。

ハンドボール競技の歴史の中で、日本の前に立ちはだかり続けた韓国から勝利を挙げることができ、今後開催される世界選手権やオリンピック最終予選に向けて自信をつけることができました。私は、もっともっと技術を磨き勝利に貢献できる選手を目指して、富山県民の方々にも更に応援していただけるよう精進していきます。

今後もアランマーレ富山、日本代表の大松澤彩夏の応援をよろしくお願いいたします。



富山県民スポーツ応援団 トップアスリート支援事業選手紹介

水泳(競泳)

竹田 涉瑚
所属:(株)オーエンス

水泳(水球)

稲場 悠介
所属:ブルボンウォーターポロクラブ柏崎

稲場 朱里
所属:(株)電算システム

ハンドボール

佐々木春乃
所属:ドルトムント(ドイツ)
※未来のアスリート発掘事業修了生

北原 佑美 笠井千香子
所属:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング

犀藤 菜穂
所属:(株)北國銀行

大松澤彩夏
所属:(株)プレステージ・インターナショナルアランマーレ

松浦 慶介
所属:大崎電機(株)

安平 光佑
所属:ポーランドプウォツク

バレーボール

松井 珠己
所属:日本バレーボール協会

福本 眸
所属:KUROBEアクアフェアリーズ

富山県出身のトップアスリート
を支援しています。

令和5年度実績

サッカー

箕田 沙織
所属:スウェーデン・リンシェーピングFC

バドミントン

保木 卓朗 常山 幹太
小林 優吾 大堀 彩
所属:トナミ運輸(株)

スケートボード(ストリート)

中山 楓奈
所属:龍谷富山高等学校

カヌー(スプリント)

浦田 樹里
所属:早稲田大学
※未来のアスリート発掘事業修了生

ボクシング

大谷栄二郎(指導者)
所属:(公財)富山県スポーツ協会

ウエイトリフティング

村上英士朗
所属:いちご(株)

中嶋 友菜
所属:東京国際大学

佐藤 公治(指導者)
所属:滑川高等学校

ホッケー

山下 学
所属:フリークス東京

加藤 凌聖
所属:LIEBE栃木

河邊 皓星
所属:岐阜朝日クラブ BLUE DEVILS

齊藤 容
所属:福井工業大学

高島 瑠唯
所属:ソニーHC BRAVIA Ladies

スキー(クロスカントリー)

山下 陽暉
所属:自衛隊体育学校

廣瀬 峻
所属:(株)長田組

蛭沢 克仁(指導者)
所属:立野ヶ原スキークラブ

スキー(スノーボード)

越坂 綾菜
所属:NPO法人笑顔スポーツ学園

山岳(山岳スキー)

池田 美貴
所属:射水市立歌の森小学校

※所属は助成対象者認定証交付式(R5.8)時点

世界の舞台で活躍する未来のアスリート発掘事業修了生

★4期生

ワールドカップを経験して

私は未来のアスリート発掘事業の4期生として、知的能力育成プログラムと身体能力育成プログラムを学びました。当時は「今の自分に必要なのか、いつこの動きを使うのだろう」と思うことも多々ありました。しかし、今思い返すとスポーツ選手として必要なものばかりでした。メンタル面、試合に向けた準備(コンディショニング)、食事面など、学んだことは今でも活動に活かされています。

私は現在、フィールドホッケー日本代表として活動しています。2023年1月にインドで開催された第15回FIH男子ワールドカップに16年ぶりに出場しました。私自身アジアの大会は何度か経験しましたが、世界大会は初めての経験で、大会が始まる前から緊張していました。それでも未来のアスリート発掘事業で学んだ、緊張を力に変えること、良い緊張は良いパフォーマンスに繋がれることを思い出し、試合に臨みました。また、より良いパフォーマンスを発揮するためのコンディショニングも行いました。インドでの大会ということもあり、普段日本で食べられるものが食べられない、補食がいつものように摂れないということがありましたが、工夫をして身体が回復する食事を心がけました。

ワールドカップでは1勝もすることができませんでした。今後の日本代表活動に活かせる経験ができました。また、未来のアスリート発掘事業で学んだことは今後も活かしていくだけではなく、指導者の立場になったときに選手たちに教えていきたいです。

ホッケー競技 男子 加藤 凌聖
LIEBE栃木



本人提供



本人提供

★9期生

ホッケーW杯に出場して

私はW杯という大きな舞台を経験して、世界との差を肌で感じました。会場の広さや観客の多さに圧倒され、その中で日の丸を背負い、いつも通り、いつも以上のプレーをしないと勝てないような相手を前に感じたことのない緊張感がありました。その緊張感の中には不安や恐怖などのネガティブな気持ち以上に、この大舞台で世界トップチームと試合ができることに対する喜びやワクワク感などのポジティブな気持ちでした。チームの勝利に貢献するために、今の自分にできる最大限のことをやり尽くし、その中で、自分のプレーは世界でどこまで通用するのかを早く試したい気持ちが強く、とても楽しみでした。W杯の結果は5戦5敗、予選リーグ敗退でベスト8といった目標には程遠いものとなりました。自分自身W杯でプレーして、結果には満足していないものの多くの収穫があり、次に繋がる大会でした。この大舞台でもいつも通りプレーできたのは、未来のアスリート発掘事業で培ったコンディショニングの作り方や気持ちの高め方などが大きく影響していると思います。この事業に参加するにあたって協力してくださった方々、一緒に学び高め合った同期のみんな、いつも一番近くで応援してくれている親への感謝の気持ちを忘れずに、この事業で学んだことをこれからのホッケー人生に活かしていきたいです。

ホッケー競技 男子 齊藤 容
福井工業大学3年



本人提供



本人提供

富山から世界へ

～未来のアスリート発掘事業から世界へ～



本人提供

★14期生

スキー(アルペン)競技 上野 香晴
富山第一高等学校1年

私は小学1年生から本格的にアルペンスキーを始め、中学3年生のときにFIS YOUTH JAPAN CUPで総合優勝し、カナダで開催されたWhistler Cup 2023に出場して、U16 回転種目で3位という成績を取ることができました。

この結果に至るまで、メンタルの面や食事の面など、「未来のアスリート発掘事業」で学んだことを念頭に置いて実践してきました。練習の時はいつも「～しない」を使わないように、プラス思考で「～する」と言い換えて考えています。

Whistler Cupのスタート前にも、メンタルトレーニングで学んだ深呼吸をして、「この部分を～しない」ではなく、「この部分は～ならないようにするために、～する」と考えてスタートしました。

「未来のアスリート発掘事業」に参加して良かったと思ったことは、いろいろな競技をしている人と出会えることです。ここにいる人たちは、何か目標に向かって日々トレーニングしていて、目標があるからこそここに来ている、と考えると自分も頑張ろうと思えました。競技は違っていても、同じ「未来のアスリート発掘事業」で学び、お互いを高め合えたと思います。

Whistler Cupの結果には満足していませんが、確実に世界を意識することができ、とても良い経験になりました。私のスキー人生はまだまだこれからです。トレーニングだけでなく、メンタルや食事など、「未来のアスリート発掘事業」で学んだことを活かして、同期の人達に負けぬようにこれからも日々精進していきたいです。



本人提供



本人提供

★14期生

スキー(アルペン)競技 堺 麻里杏
富山第一高等学校1年

アルプチンブラFISチルドレンカップはフォルガリア(イタリア)にて例年開催されているユース世代の国際大会です。過去にこの大会で好成績を収めた各国の選手は数年後にワールドカップをはじめとする様々なトップカテゴリーの大会で活躍しているため、世界への登竜門と呼ばれています。

私もこの大会に出場し今の自分の世界での立ち位置を確かめたかったので、この大会への出場をひとつ目標としていました。結果は全く満足できるものではなく、課題が明確になったことがこの大会で得たことです。

私は選考合宿を経て代表に選出されましたが、代表選出に至るまでの過程を振り返ると、これまでのすべての経験が活かされての結果だと感じます。その結果を導いたものの中には、「未来のアスリート発掘事業」で学んだことが大きく、スポーツ栄養やメンタリティなどの実践的な内容がありました。ほかにも味の素ナショナルトレーニングセンターへの視察を通して、ここに通うような選手になりたいという目標ができたことや「人間力なくして競技力向上せず」という言葉から人間力のアスリートにおける必要性を学んだことが、私生活の中での心の基盤となりました。

「未来のアスリート発掘事業」で学んだすべてが今の自分をつくっていて、強みとなっています。今後もこの経験を生かし、目標に向けて頑張っていきます。



本人提供

未来のアスリート発掘事業

平成17年度からスタートした「未来のアスリート発掘事業」は、スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら“将来のスポーツ界を担う人材”の育成、“全国、世界の檜舞台で活躍できる選手”の育成をサポートしていくものです。県内の小学5年生全員を対象に公募するとともに、競技団体からの推薦者と合わせて書類選考・運動能力測定会等を経て選出された約70名が、発達段階に応じた育成プログラムを小学校卒業まで受講します。

毎月1回、著名な講師を招いて実施する育成プログラムは、知的能力育成プログラムと身体能力育成プログラムの2本柱で構成されており、児童のみならず、保護者も熱心に受講されています。現在1期生から18期生まで1,159名が指定され、それぞれの年代で国際大会や全国大会等に出場し優秀な成績を取めるなど、着実に成果があがっています。

令和5年度からは、競技団体から推薦のあった県内の小学4年生を対象にジュニアアスリート指定者を選考し、18期生と一緒に活動する取り組みを始めています。

測定会(2次選考会)

「全身反応」や「立ち幅跳び」「捕捉ゲーム」など7種目を実施しました。



測定会

メンタルトレーニング講座

心理的な働きを高め、試合で実力を発揮できる方法を学びます。



コミュニケーション

コミュニケーションのきっかけを作り、アスリート同士が関わり合いながら課題を解決する方法を学びます。



スポーツ栄養講座

トップアスリートになるために必要な食生活のあり方を学びます。



スポーツ障害講座

スポーツ中のケガの予防法やケガをしてしまった時の対処法等を学びます。



知的能力育成プログラム

コーディネーショントレーニング

運動場面の変化に対応して、全身を巧みにコントロールできる能力を高めます。



コンディショニング

自分の持っている力を発揮したり、疲労の回復を促すための体の使い方を学んだりします。



ファルトレクトレーニング (写真はR4のもの)

豊かな自然環境の中でトレーニングを行うことで様々な変化に対応する能力を高めます。



アランマーレ富山の選手には、様々なトレーニングについて児童と一緒に活動して動きの手本となったり、一緒にミニゲームに参加したり、チームごとの振り返りでアドバイスをしたりするなど、積極的に関わっていただきました。



★アスリート・保護者の声★

- 今回のスポーツ栄養のお話をきいて、「食事・運動・睡眠」の3つをバランスよく保とうと改めて思いました。アスリートとして、戦う体を作ることはいかに大切なことだと思います。運動だけでなく、食事や睡眠とあわせて、ふだんの生活一つ一つを意識して過ごしたいと感じました。学んだことを忘れないためにも、すぐに実行していきたいです。(アスリート)
- スポーツは、体だけを見がくのではなく、心もみかいていかないとすごいスポーツ選手にはなれないと分かりました。マイナス思考にならないようにし、緊張する場で実力を発ぎしたいです。(アスリート)
- ぼくは、メンタルがすごく弱くて、試合のときなどは、そんなに練習の成果を出せていませんでした。でも、ここで学んだプラス思考で考えることや緊張したときは深呼吸をすることなどを取り入れて、よいパフォーマンスを発揮できるようにいかしていきたいです。(アスリート)
- 「弱いところを補おうとするより、強みを伸ばす」ということや、「なぜ負けたのかより、なぜ勝ったかを考える」という話が印象的でした。実際にやってみたことも、おもしろかったです。(保護者)
- 子供が結果を出せなかったとき、なぜそうなってしまったのかを責めてしまっていたので、できていることを見つけてあげて、長所を伸ばしてあげようと思いました。期待をしながら話をすると、そうなってしまうことを知り、とても勉強になりました。(保護者)
- プロ選手、オリンピック選手など、アスリートを指導しておられる先生のお話を聞くことができました。結果を気にした時に失敗するなど、具体的で子供たちに分かりやすい説明で感銘を受けました。内発的動機付けが重要なことや、有能感をもたせることなどを学べました。(保護者)

富山県スポーツ協会名称変更

令和5年4月1日組織名を「富山県スポーツ協会」に改称し、県総合体育センター内にある事務所に看板を設けました。名称変更に伴う体制強化の一環として理事長は荻布佳子県教育長から廣島伸一県生活環境文化部長に交代しました。



令和5年度富山県スポーツ協会表彰

令和5年度公益財団法人富山県スポーツ協会表彰式を令和6年1月25日、パレブラン高志会館において、山本 徹県議会議長をお迎えして開催しました。

表彰式では、全国大会や国際大会で優秀な成績を収めた選手・チーム・指導者と、当協会や加盟団体の発展に尽力された方々64名と9団体に、新田八朗会長が表彰状と記念品を贈呈しました。

特別表彰では、第19回アジア競技大会ハンドボール女子で金メダルを獲得した(株)プレステージ・インターナショナルアランマーレの大松澤彩夏選手、令和5年度日本カヌースプリント選手権大会女子K-1(カヤックシングル)200mで優勝した浦田樹里選手をはじめ国際大会や全国大会で優秀な成績を収めた選手・チームを表彰しました。国体表彰では、国民体育大会各競技で3位以内に入賞した方々を表彰しました。また、加盟団体の役員、県スポ協の理事を務められた方々には特別表彰や感謝状を授与しました。

最後に受賞者を代表し、廣瀬峻氏から会長へ謝辞が述べられました。



特別表彰

- (1) 富山県スポーツ協会の理事又は加盟団体の会長、副会長、理事長（理事長を置かない団体においては、理事長にかわる専務理事等の役員）として通算10年以上在職し、その功績が顕著と認められる者
ただし、この表彰は1回限りとする

氏名	所属	氏名	所属
小柳 勇人	バレーボール協会	今泉 勉	バドミントン協会
松倉 弘英	バスケットボール協会	大門 進	剣道連盟
金谷 勉	卓球協会	牧本 雄一	剣道連盟
西浦 俊昭	相撲連盟	塩井 保彦	富山市スポーツ協会

- (2) 日本選手権、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会に出場し優勝したチーム又は選手及び指導者
ただし、指導者の推薦については、指導歴1年以上・1回限り
全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会で行われない競技種目及びこれらに準ずる大会で最高学年が出場できる大会についても同様（表彰対象期間 令和4年10月21日～令和5年10月20日）

チーム名・氏名(所属)	競技名	対象大会成績
堺 麻里杏(富山大学教育学部附属中学校)	スキー	令和4年度全国中学校体育大会 第60回全国中学校スキー大会 女子回転
小林 雄太(新富観光サービス(株))	スキー	堺 麻里杏 指導者
富山国際大学 ボート部 若松 草汰 若崎 晴斗 長谷 享 橋口 拓未	ローイング	第101回全日本ローイング選手権大会 男子クオドルプル
堀田 みず希(南星中学校)	ボクシング	第10回全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦 中学女子57Kg
江尻 政敏(㈲アサヒヤクリーニング)	ボクシング	堀田 みず希 指導者
トナミ運輸(株) 小林 優吾 保木 卓朗	バドミントン	第76回全日本総合バドミントン選手権大会 男子ダブルス
浦田 樹里(早稲田大学)	カヌー	令和5年度日本カヌースプリント選手権大会 女子 K-1(カヤックシングル) 200m

(3) オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、ユニバーシアード大会、アジア競技大会、ユースオリンピック競技大会、ジュニア世界選手権大会に出場し、優秀な成績を収めた選手
(表彰対象期間 令和4年10月21日～令和5年10月20日)

氏名(所属)		競技名	対象大会成績	
廣瀬 峻	(早稲田大学)	スキー	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ(2023/レークプラシッド) 男子10kmクラシカル	1位
			男子10kmフリー	
			混合チームスプリント	
			男子4×7.5kmリレー	
			男子30kmフリー	5位
			混合スプリント混合団体	5位
賀来 真穂	(ダイチ株)	スケート	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ(2023/レークプラシッド) 女子パシュート団体	3位
			女子3000m	4位
大松澤 彩夏	(株)プレステージ・インターナショナル アランマーレ	ハンドボール	第19回 アジア競技大会 女子	1位
大堀 彩	(トナミ運輸株)	バドミントン	第19回 アジア競技大会 女子シングルス 女子団体	3位
小林 優吾	(トナミ運輸株)	バドミントン	第19回 アジア競技大会 男子団体	3位
保木 卓朗	(トナミ運輸株)			
常山 幹太	(トナミ運輸株)			
大田 隼也	(高岡第一高等学校)	バドミントン	2022年 世界ジュニアバドミントン選手権大会 混合団体	3位

(4) 国民体育大会の監督及び選手として通算10回以上出場した者

氏名	所属	氏名	所属
鈴木 悦朗	相撲連盟	小倉 徳二	ボウリング連盟

国体表彰

(1) 特別国民体育大会に出場し、3位以内に入賞したチーム又は選手

氏名(所属)		種別・種目	順位	
菊池 萌水	(KHネオケム株)	スケート 冬季大会 成年女子 ショートトラック 1000m	1位	
富山選抜 トナミ運輸株 金子 真大 大林 拓真 高橋 洸士		バドミントン 本大会 成年男子	1位	
浦田 樹里	(早稲田大学)	カヌー 本大会 成年女子 スプリント K-1 (カヤックシングル)	200m	1位
			500m	2位
富山選抜 富山北部高等学校 深川 満那 砂場 彩衣佳		カヌー 本大会 少年女子 スプリント K-2 (カヤックペア)	1位 1位	
		200m		
		500m		
藤田 紘基	(南砺平高等学校)	スキー 冬季大会 成年男子C クロスカントリー 5kmクラシカル	2位	
四方 美咲	(陽進堂ホールディングス株)	ローイング 本大会 成年女子 シングルスカル	2位	
富山選抜 勝尾 拓海 (富山いずみ高等学校) 大島 稜也 (高岡工芸高等学校) 中嶋 一郎 (高岡工芸高等学校)		弓道 本大会 少年男子 遠的	2位	
賀来 真穂	(ダイチ株)	スケート 冬季大会 成年女子 スピードスケート 1500m 3000m	3位 3位	
水口 雄太	(南砺市役所)	スキー 冬季大会 成年男子C ジャイアントスラローム	3位	
清水 康平	(株)長田組	スキー 冬季大会 成年男子B クロスカントリー 10kmクラシカル	3位	

氏名（所属）		種別・種目		順位
富山選抜 竹原 義之（農事組合法人野口営農組合） 山崎 大翔（早稲田大学） 宮木 凌（T.A.C スキーチーム） 清水 康平（株長田組）		スキー	冬季大会 成年男子 クロスカントリーリレー	3位
坂田 力毅	（富山国際大学付属高等学校）	水泳	本大会 少年男子 飛板飛込	3位
森 祐太	（高岡商業高等学校）	水泳	本大会 少年男子B 100mバタフライ	3位
富山選抜（株）プレステージ・インターナショナル アランマーレ 笠野 未奈 酒井優貴子 檜木 祐穂 兼子 樹 宮田日菜子 菊池 杏菜 安部 碧 高木裕美子 大松澤彩夏 横嶋 彩 行本 朱里 鈴木 梨美		ハンドボール	本大会 成年女子	3位
石須 基甫	（滑川高等学校）	ウエイト リフティング	本大会 少年男子 96kg級 スナッチ	3位

(2) 特別国民体育大会において、競技別総合8位までに入賞した競技団体

団体名	成績	団体名	成績
バドミントン協会	6位	スキー連盟	7位

(3) 国体の成年の部に通算5回以上（異種目も可）出場した選手
ただし、大学在学中の出場は除くこととし、この表彰は1回限りとする

氏名	所属
牧野 真弥	馬術連盟



❀感謝状❀

(1) 加盟団体の発展に尽力し、役員として通算10年以上在職し、特にその功績が顕著と認められる者（1回限り）

氏名	推薦団体	氏名	推薦団体
鎚木 龍太郎	陸上競技協会	高田 享	ソフトテニス連盟
柳澤 栄一	水泳連盟	堀田 理	相撲連盟
坂田 久	水泳連盟	浦山 松男	相撲連盟
松枝 文男	テニス協会	籠伊 晴美	ソフトボール協会
五十里 勘司	バレーボール協会	米 正隆	バドミントン協会
野末 友枝	バレーボール協会	中田 政俊	弓道連盟
中島 恵	バレーボール協会	中島 節治	剣道連盟
島川 均	バレーボール協会	塩谷 敏幸	剣道連盟
茶谷 修治	バレーボール協会	福原 忠	剣道連盟
林 徹	バレーボール協会	木倉 隆泰	剣道連盟
沖田 直久	バレーボール協会	重富 洋一	剣道連盟
東山 貞治	バレーボール協会	石溪 秀満	山岳連盟
岩崎 修	バスケットボール協会	渡邊 誠	銃剣道連盟
酒匂 博臣	バスケットボール協会	末坂 進	高岡市体育協会
福井 康弘	ソフトテニス連盟		

第33回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

本年は、6月3日(土)から11月12日(日)を会期とし、富山県総合体育センターほか10会場において、令和5年度富山県スポーツフェスタ第33回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会が開催されました。

県内各地から、2,498名の団員・指導者が集い、声援と拍手の中、軟式野球競技など12競技が行われ交流を深めました。各競技の様子や成績を紹介いたします。



***** 優勝一覧 *****

★サッカー競技 6月17日(土)・18日(日)
プリマヴェーラ入善町サッカー(入善町)

★バレーボール競技 9月23日(土)・24日(日)
男子 桜井男子バレーボール(黒部市)
女子 新庄北(富山市)

★ミニバスケットボール競技 6月25日(日)・7月1日(土)・2日(日)
男子 西条ミニバスケットボール(高岡市)
女子 庄東(砺波市)

★卓球競技 6月24日(土)
小学4年男女の部
澤崎 太亮(UOZU SUPOLA.JTC 魚津市)
小学5・6年男子の部
餅川 蓮(STEP氷見 氷見市)
小学5・6年女子の部
林 裕悠(福光卓球 南砺市)
中学男子の部
美浪 太基(UOZU SUPOLA.JTC 魚津市)
中学女子の部
森綱ちひろ(UOZU SUPOLA.JTC 魚津市)

★軟式野球競技 6月3日(土)・10日(土)・17日(土)・18日(日)
氷見ブルーウェーブ(氷見市)

★柔道競技 6月25日(日)
団体 富山市
小学3年-30kgの部
岩河 慶汰
(水橋錬成館柔道教室 富山市)
小学3年+30kgの部
土倉 瑛大(中田柔道 高岡市)
小学4年-35kgの部
山田 翠(柔心会 射水市)
小学4年+35kgの部
中田 桜介(柔心会 射水市)
小学5年-40kgの部
朝井 創介(水橋錬成館柔道教室 富山市)
小学5年+40kgの部
山崎 葉月(水橋錬成館柔道教室 富山市)
小学6年-45kgの部
窪城 優吾(高岡西条柔道教室 高岡市)
小学6年+45kgの部
若林 朝日(高岡西条柔道教室 高岡市)



★ソフトボール競技 6月17日(土)
魚津アップルジュニアソフトボール
(魚津市)

★バドミントン競技 6月24日(土)
小学4年男子の部
飯山 怜志・山田 将翔(新湊ジュニアバドミントンクラブ 射水市)
小学4年女子の部
芝田 英吏・谷 心維(富山和合バドミントンクラブ 富山市)
小学5年男子の部
大屋 達生・菊島 悠生(豊田校下 富山市)
小学5年女子の部
崇田 夏鈴・碓井 美羽(上市バドミントンスクール 上市町)
小学6年男子の部
井村 蓮次・櫻井 恵太(富山和合バドミントンクラブ 富山市)
小学6年女子の部
石塚 理心・加藤 佑奈(堀川南 富山市)



★剣道競技 11月12日(日)
団体 富山市
小学4年男女の部
石田 晟都(凌雲館村雲道場 富山市)
小学5・6年男子の部
和嶋 閃(黒部剣道 黒部市)
小学5・6年女子の部
藤田 弥沙(庄川 砺波市)
中学男子の部
山口空生斗(凌雲館村雲道場 富山市)
中学女子の部
奥村望乃果(凌雲館村雲道場 富山市)



★ソフトテニス競技 7月1日(土)
男子 庄川ソフトテニス(砺波市)
女子 WING射水(射水市)



★ホッケー競技 7月8日(土)
男子 RED OX大谷ホッケー(小矢部市)
女子 小矢部RED OXホッケー(小矢部市)



★空手道競技 6月24日(土)
形男女 上市町空手道(上市町)
組手男子 上市町空手道(上市町)
組手女子 上市町空手協会(上市町)



北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

第43回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会が9月16日(土)から9月24日(日)に新潟県にて開催され、卓球、バドミントン、サッカーの3競技で各県代表チームが試合や交歓交流を通じて交流を深めました。

また、11月11日(土)、12日(日)には全国バレーボール交流大会への出場をかけたバレーボール競技が新潟県で開催されました。富山県代表のチームは全国大会への切符は逃しましたが2位と健闘しました。

【各競技結果一覧】

競技	出場チーム	成績
卓球 (男子)	富山市スポーツ少年団	敢闘賞
卓球 (女子)	富山市スポーツ少年団	敢闘賞
バドミントン	富山県選抜チーム	優勝
サッカー	プリマヴェーラ入善サッカー	優勝
バレーボール	桜井男子バレーボール	第2位



第50回日独スポーツ少年団交流事業(受入)高岡市

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースの団員が、相互交流により友好と親善を深め、国際能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とした「第50回日独スポーツ少年団同時交流事業」が8月1日(火)～8月5日(土)までの5日間高岡市において行われ、柔道競技のユース団員9名と指導者1名を受け入れました。

今回の交流では、座禅体験や高岡市の伝統工芸である鋳物づくり体験などを通じて日本の文化に触れていただきました。また、ティーボール体験やソフトテニス体験、柔道体験で高岡市スポーツ少年団員と交流しました。富山県スポーツ少年団リーダー会とスポーツにおけるSDGsについてディスカッションしました。バーベキューやキャンプファイヤー、花火大会などたくさんのプログラムを通して、両国の友好の輪を築きました。



第76回 富山県民体育大会

第76回富山県民体育大会は、7月22日(土)、23日(日)を中心会期に、県内10市3町を主会場に行われました。この県民体育大会は、一部:競技スポーツの部(チャンピオン部門)、二部:県民スポーツの部(地域対抗部門)、三部:健康と体力づくりの部(交流部門)の三部からなり、冬・夏合わせて45競技に選手・監督合わせて22,427名が参加しました。



陸上競技



サッカー



ビーチボール



レスリング



弓道



自転車



軟式野球



相撲



アーチェリー

7月24日(月)に富山県総合体育センターにおいて閉会式が行われました。閉会式には、12郡市の体育・スポーツ協会関係者約40名が集まり、冬・夏に繰り上げられた二部について成績発表の後、一般の部、中学の部の各部門において1~3位の郡市をそれぞれ表彰しました。第76回大会は、一般の部、中学の部ともに富山市が優勝、2位は高岡市でした。一般の部の3位は射水市、中学の部の3位は南砺市でした。また、躍進賞の一般の部は射水市、中学の部は下新川郡、魚津市、滑川市がそれぞれ受賞されました。



閉会式の様子

◇ 上位成績一覧 ◇

一般の部		中学の部	
1位	富山市 (28年連続 69回目)	1位	富山市 (42年連続 48回目)
2位	高岡市	2位	高岡市
3位	射水市	3位	南砺市

◇ 躍進賞 ◇

一般の部	中学の部
射水市	下新川郡 魚津市 滑川市



郡市対抗一般・中学の部優勝の富山市

Enjoy!スポーツとやま2023

令和5年9月24日(日) 富山市総合体育館、親水広場、富岩運河環水公園

今年度新たに、「Sport in Life」の啓発活動や多様なスポーツプログラムを県民に提供することで、スポーツ活動の習慣化を促すとともに、スポーツ活動や参画によるウェルビーイング(心身の健康、自分時間の充実、生きがい、つながり)の向上を目指したスポーツイベントを開催しました。当日は約3,000名の来場があり、参加された方々は様々なスポーツに親しみ、心地よい汗を流しておられました。



富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加盟クラブ一覧 (R5年度)

NO.	地区	市町村	クラブ名	NO.	地区	市町村	クラブ名	
1	富山	富山市	NPO 法人 ひがしスポーツクラブ	14	砺波	砺波市	NPO 法人 SEIBU スポーツクラブ	
2			NPO 法人 富山スイミングクラブ	15			となみスポーツクラブ トライズ	
3			(一社) パレススポーツクラブ	16			小矢部市	NPO 法人 おやべスポーツクラブ
4			くれは総合型スポーツクラブ	17			NPO 法人 クラブ Joy	
5			(一社) 水橋フットボールクラブ	18			南砺市	NPO 法人 アイウェーブ
6			NPO 法人 ふちゅうスポーツクラブ	19			NPO 法人 ふくのスポーツクラブ	
7	高岡	高岡市	(一社) 高岡スポーツユナイテッド	20	新川	魚津市	NPO 法人 福光スポーツクラブ	
8			NPO 法人 遊・Uクラブ	21			総合型地域スポーツクラブうおづスポラ	
9			NPO 法人 新湊カモンスポーツクラブ	22			(公財) 黒部市体育協会 KUROBE	
10			NPO 法人 こすぎ総合スポーツクラブ	23			黒部市	スポーツファミリー
11			NPO 法人 しもむらスポーツクラブ	24			舟橋村	NPO 法人 KUサポートクラブWILL
12			NPO 法人 おおしまスポーツクラブ	25			(一社) 常願寺川公園スポーツクラブ	
13			NPO 法人 おおしまスポーツクラブ	26			上市町	上市町総合スポーツクラブ さんさん
	氷見市	総合型地域スポーツクラブふれんず	27	朝日町	ひすいスポーツクラブ			

とやま週イチスポーツ推進事業

令和5年度新規事業として、富山県のスポーツ実施率を上げる為、新たなスポーツ人口の掘り起こしにつながる教室を実施し、スポーツ人口の拡大及び運動やスポーツの習慣化を図ることを目的に県からの委託を受け、9クラブ16教室を実施しました。

実施教室内容：①学校運動部活動で取組の少ない競技・種目の教室 ②子どもの体力・運動能力向上を目指した教室
③親子スポーツ教室(託児付き)

※本事業は、スポーツ振興くじ助成金を活用し実施しました



令和5年度地域スポーツ指導者研修会

令和5年7月9日(日) 富山県総合体育センター

未就学児・小学生へのスポーツプログラム

<講義> 幼少児期の運動の必要性和大人の関わり方
<実技> 幼少期に必要な遊びを通した運動実践

小川 耕平 氏
(特定非営利活動法人笑顔スポーツ学園 理事長)

子どもの特徴、現在の体力、環境について現状を知り、大人が子どもたちに夢(目標)に向かって進むための役割を学び、ゲーム要素を加えた一緒に楽しく体を動かすプログラムを体験しました。

本研修会は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者」資格更新研修、「健康・体力づくり事業財団」更新資格認定と兼ねて開催しました。



一般・シニアへのスポーツプログラム

「けいらく」を取り入れたエアロビクス運動
けいらくビクス®による内臓と心身の活性化
～考え方、動き方、効果を学ぼう～

村井 玉枝 氏
(一般社団法人けいらくビクス協会 代表理事・けいらくビクス®ディレクター)

軽く楽に行う有酸素運動として呼吸と動きの連動、主要14経路を刺激する神経の働きを学んだ後、季節(春・夏・晩夏・秋・冬)の特色に合わせたプログラムの実践を体験しました。



令和5年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会(専門科目)

総合型地域スポーツクラブの運営に必要なクラブマネジメントの基礎的知識を学び、クラブ運営に携わる人材を養成することを目的とした、令和5年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会(専門科目)が、12月9日(土)・10日(日)に21名の参加を得て、富山県総合体育センターにて開催されました。



5名の講師による「総合型地域スポーツクラブ育成の意義」、「クラブのつくり方・地域団体との連携」、「総合型地域スポーツクラブにおけるマーケティング」、「クラブマネジャーの役割Ⅰ・Ⅱ」等の講義後、検定試験を受けました。

★ 総合型地域スポーツクラブ紹介 ★

KUROBEスポーツファミリー



市民ひとり1スポーツの実現に向けて

公益財団法人黒部市体育協会 会長 中西 誠

KUROBEスポーツファミリーは運営母体である本協会が黒部市総合体育センター及び総合公園の指定管理を受託しており、施設を教室やイベント実施に活用する形で富山県内では珍しい施設型総合型地域スポーツクラブとして平成15年にスタートしました。現在、一般・高校生以上を対象とした44教室、小学生を対象としたジュニアスイミングスクールや多種目選択型の各種教室、8団体の競技スポーツ

選手育成クラブに老若男女問わず多数の会員が在籍し、黒部市のスポーツ振興・発展に寄与しています。

設立当初は教室数が少なく会員の選択肢も限られていましたが、現在では運動教室体験や短期運動教室等を開催し、会員ニーズの調査を行い、強度の高い教室から癒しや律動的要素のある教室まで数多く実施しております。

また、約20kmの道のりを全員で完歩する「チャレンジウオーク」や道具づくり・食糧確保から始まる「キャンプ&サバイバル体験」といった自然体験型イベント等を企画し、会員相互の親睦も深めております。この様に各種イベントを通じ、活力に満ち溢れた人づくり・魅力あるまちづくりを会員の皆様や関係各所の皆様と共に飛躍・成長してまいりました。

黒部市が掲げる「市民ひとり1スポーツ」を実現するために、今後総合型スポーツクラブ事業を通じて地域に密着し、より一層の充実と発展に努めてまいります。関係者の皆様には、今後ともご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度富山県スポーツ指導者研修会

富山県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進及び、指導者の連帯感を深め組織的活用を図ることを目的とした、令和5年度富山県スポーツ指導者研修会が、12月3日(日)に249名の参加を得て、国立大学法人富山大学五福キャンパス黒田講堂にて開催されました。

富山大学附属病院整形外科の下条竜一氏による「女性アスリートの疲労骨折を含めた下肢スポーツの傷害」と(株)富山県義肢製作所中敷き・靴の専門店の高浪友之氏による「靴の選び方 履き方」についての講義を受けました。

本研修は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新のための更新研修の一つとして取り扱われます。



公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

日本スポーツ協会では、永年にわたりスポーツ指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他、国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった指導者を表彰しており、本県から5名の方々が受賞されました。

指導者等表彰受賞者

氏名	資格
中島 安興	トライアスロンコーチ1
笹山 治一	ダンススポーツコーチ3
中川 隆司	軟式野球コーチ3 スポーツプログラマー

氏名	資格
宮田 文春	銃剣道コーチ1
岡島 幸子	クラブマネジャー

加盟団体紹介

創立90周年を迎え、新たな10年のために

富山県バレーボール協会
理事長 五十里勘司

富山県バレーボール協会は前身である富山県排球連盟の結成から2022年に創立90周年を迎えました。2024年2月23日に、創立90周年記念式典を執り行い、100周年へ向けての新たな10年をスタートさせます。創立からここまで、1958年と2000年に国民体育大会を、1994年と2012年には全国高校総合体育大会など、多数の大規模な全国大会を主管となって開催してきました。また、1998年には魚津市でバレーボール男子世界選手権を、そして1999年から2019年の21年間に4年に1度のFIVB(国際バレーボール連盟)ワールドカップバレーボールを6回連続で開催するなど、国際的にも注目度の高い世界大会を誘致開催し、バレーボールの普及と発展に寄与して参りました。特にワールドカップで採用した約3000名の富山市内の小学生を試合会場に招待する試みは、視察に訪れたFIVB幹部からも競技普及の観点から賞賛に値するとの高い評価を受けました。

2023年5月に富山県西部体育センターで行われた国際親善試合日本対中国戦や、9月の東京でのオリンピック出場権をかけたワールドカップバレーボールに見られるように、男女全日本代表チームの試合には多くの観衆が押し寄せ、その人気の高さは過去に見られないほどに沸騰しています。その一方、小中学生レベルでは少子化、スポーツの多様化、部活動の地域移行などにより、選手・チーム数の減少、指導者不足など看過できない問題が年々顕著になってきています。私たちは今一度「バレーボールをする楽しさ、見る楽しさ」、「バレーボールの価値」について見つめ直し、次世代のバレーボーラーを育てていかねばならない時期が到来したと考えています。



3000人の観衆で埋まった国際親善試合 日本対中国
(2023.5.20 富山県西部体育センター)

普及と育成、地域社会との関連強化を目指して

富山県ラグビーフットボール協会
理事長 田中 悟

今年、ラグビーWCがフランスで開催されました。思い起こせば4年前(前回)の2019年日本開催は大きく盛り上がりました。「ONE TEAM(ワンチーム)」が流行語となり、「にわかファン」と揶揄されながらも、国内試合の観客動員数やラグビースクールの入会者が増加するなど、これまでの日本ラグビー界の普及や強化が結びつき、明るい兆しが見え始めていました。しかし、翌2020年からコロナ禍に見舞われ、各種のスポーツ界においても試合の中止や練習等の活動制限を余儀なくされました。特にコンタクトプレーの多いラグビーは、実戦に即した練習がほとんど出来ない日々を過ごし、その普及活動も長期間にわたり停滞しました。ラグビー人気の高揚とともに競技人口の増加を期待していた者は誰もが残念に思ったことと推測されます。

富山県のラグビー界の現状は、過去の国体出場回数や高校生の全国大会の成績等を見ても低迷しており、球技の中では最も多い15人を要するため、少子化の影響は高校チーム数の減少や選手が他県強豪校へ流出するなどの課題に直面しています。その逆境の中でも県内の4つの地域協会(魚津、富山、高岡、砺波)による小学生の普及育成から次のカテゴリーへと繋げる活動とともに各種イベントの開催やグラウンド(人工芝)・体育館の確保など活動環境の整備や充実に努めています。

近年、富山県(出身)の選手が全国規模で活躍しています。女子7人制の日本代表候補として田中笑伊(魚津市)、大橋聖香(射水市)の各選手が今年のパリオリンピック出場に期待がかかっています。また、砺波高校2年の宮川侑大選手がU17日本代表として日韓中ジュニア交流大会に先発出場するなど、これまでの普及活動が結びついた結果と考えています。

学校部活動の地域移行などスポーツを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。本協会としてはこれまで以上に一丸となって、普及育成、地域社会の連携を強め、競技の楽しさと継続、技術の向上に努めていきたいと思っています。



富山県高等学校体育連盟 令和5年を振り返って

理事長 山本 一登

昨年末から今年の春休みにかけて開催された全国高校総体では、スキー女子リレーで南砺平高校が4位、女子回転で上嶋悠花選手(富山第一高校)が5位に入賞し、令和5年度に地元富山で開催する全国スキー総体に向けて弾みをつけました。また、全国高校選抜大会では、ホッケー女子で石動高校が2位、ウエイトリフティング女子64kg級で大西乙葉選手(滑川高校)が3位、弓道男子個人で中嶋一郎選手(高岡工芸高校)、スキー女子スーパー大回転で上嶋梓紗選手(富山第一高校)、ウエイトリフティング男子89kg級で石須基甫選手(滑川高校)がそれぞれ4位に入賞するなど、11競技18種目で延べ64名が上位入賞しました。

また、高校生のスポーツの祭典、令和5年度全国高校総体は、「翔び立て若き翼 北海道総体2023」のスローガンのもと、7月22日～8月21日の日程で、北海道と山形県、栃木県、和歌山県で開催され、本県からは中村謙作県高体連会長を団長として、30競技に502名の選手が参加しました。本県選手はよく健闘し、ウエイトリフティング女子64kg級で大西乙葉選手(滑川高校)、同じく女子76kg超級で真田明花李選手(滑川高校)がそれぞれ2位、ハンドボール男子で氷見高校、水泳女子100mバタフライで大上詩央里選手(国際大付高校)、柔道男子73kg級で古澤翔太選手(小杉高校)、ウエイトリフティング男子89kg級で石須基甫選手(滑川高校)が、それぞれ3位入賞を果たすなど、10競技27種目で8位以上に入賞する好成績を収めました。

特別国体(鹿児島国体)では、カヌー少年女子K-2の200mと500mで深川・砂場選手(富山北部高校)が優勝、弓道少年男子遠の富山選抜が2位、水泳少年男子B100mバタフライで森祐太選手(高岡商業高校)、同じく少年男子飛板飛込で坂田力毅選手(国際大付高校)がそれぞれ3位に入賞するなど冬季国体を含めて、少年の部で8競技26種別で入賞を果たしました。

また、日本代表として国際大会に出場した選手や様々な大会で競技実績を重ねる選手も多く、本県の高校生アスリートの競技力は着実に向上しているものと思われます。これらの大会の成果は、選手の日々の努力はもちろんのこと、指導者や家族、周囲の方のサポートの賜物であると共に、県スポーツ協会や各競技団体、県高体連等の事業を活用するなど、「チーム富山」で取り組んだ成果であると思います。

令和6年2月7日～11日には、本県では17年ぶりとなる「令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校スキー大会」が南砺市と富山市で開催されます。大会での本県選手団の活躍を期待するとともに、全国大会を地元で開催する事により高校スポーツ発展への気運が醸成され、今後の本県高校スポーツの更なる飛躍につながる事を期待しています。

終わりになりますが、日頃より高校生のスポーツ振興にご協力いただいております皆様方に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



富山県中学校体育連盟 令和5年を振り返って

理事長 藤田 慎吾



令和5年2月7日から10日にかけて全国中学校スキー大会が長野県野沢温泉村で開催されました。堺麻里杏選手(富大附属中)がアルペン女子スラローム競技で優勝の栄冠に輝きました。また、同競技で上野香晴選手(井波中)が3位、清利葵乃選手(城端中)が9位、アルペン女子ジャイアントスラローム競技で上野選手が2位、堺選手が3位、清利選手が4位、クロスカントリーリレーで女子選抜が8位にそれぞれ入賞を果たし、幸先のよいスタートを切ることができました。

7月31日から8月4日にかけて、全国中学校体育大会の予選大会となる第44回北信越中学校総合競技大会が石川県で開催され、本県から818名が出場しました。ハンドボール競技では西條中学校男子、氷見北部中学校女子がともに優勝を果たすなど、7競技18種目で優勝の栄冠に輝きました。

8月17日から26日にかけて全国中学校体育大会が「君の夢 四国の蒼空で 咲きほこれ!」のスローガンのもと四国ブロックで開催され、本県から220名が参加しました。大会では、氷見北部中学校のハンドボール競技女子3位をはじめ、大西琴葉選手(城端中)の水泳競技女子200m背泳ぎ3位、同100m背泳ぎ4位など、4競技7種目において入賞を果たしました。

また、8月に開催された全日本中学生ホッケー選手権大会では、蟹谷中学校女子が2位、全日本中学選手権競漕大会では、大沢野中学校が3位に入賞するなど、多くの選手が全国の舞台上で活躍しました。

12月17日、滋賀県で開催された第31回全国中学校駅伝大会において、大沢野中学校女子が見事2位となり、県勢過去最高成績を残すとともに、3区を力走した黒川志帆選手は区間賞を獲得するなど、2年連続で全国の舞台上で輝きました。

今年度から大会参加資格の緩和に伴い、地域クラブ活動の参加を認めた初の大会運営となりました。また、感染症や熱中症に対策を講じながら、安心・安全な大会運営に尽力しました。本連盟では、今後とも、県スポーツ協会や関係競技団体、関係機関と連携を図るとともに、スポーツ振興並びに選手の育成支援に努めてまいりたいと思います。

終わりに、日頃より中学校の運動部活動に対してご理解とご協力をいただいております関係団体並びに指導者の皆様へ深く感謝申し上げますとともに今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



全国中学校スキー大会

令和5年2月7日～10日 長野県野沢温泉村

順位	種別	種目	選手・チーム名
1位	アルペン	女子スラローム	堺 麻里杏 (富大附属)
2位	アルペン	女子ジャイアントスラローム	上野 香晴 (井波)
3位	アルペン	女子ジャイアントスラローム	堺 麻里杏 (富大附属)
3位	アルペン	女子スラローム	上野 香晴 (井波)
4位	アルペン	女子ジャイアントスラローム	清利 葵乃 (城端)
8位	クロスカントリー	女子リレー	富山県選抜チーム
9位	アルペン	女子スラローム	清利 葵乃 (城端)

全国中学校駅伝大会

令和5年12月16日～17日 滋賀県

順位	種別	選手・チーム名
2位	女子	大沢野中学校
区間1位	女子3区	黒川 志帆 (大沢野)

全国中学校ヨット選手権大会

令和5年7月28日～30日 千葉県

順位	種別	種目	選手・チーム名
2位	学校対抗	団体戦の部	射北中学校
2位	女子	MH級	織田あやめ (射北)
2位	女子	SH級	杉浦 舞 (射北)
3位	男子	SH級	長澤 駈 (射北)
3位	女子	MH級	高林 美羽 (射北)
5位	女子	OP級	林 天音 (射北)
5位	女子	MH級	峯 一心 (射北)
5位	女子	SH級	鳥取 楓花 (射北)
6位	女子	OP級	村田 紗垂 (射北)
8位	女子	MH級	織田 唯莉 (射北)

全国中学校体育大会

令和5年8月17日～26日 四国ブロック

順位	種別	種目	選手・チーム名
3位	ハンドボール	女子	氷見市立北部中学校
3位	水泳競技(競泳)	女子200mバタフライ	大西 琴葉 (城端)
4位	水泳競技(競泳)	女子100mバタフライ	大西 琴葉 (城端)
5位	ハンドボール	男子	氷見市立西條中学校
5位	柔道	女子63kg級	古澤 未来 (小杉)
6位	陸上競技	女子1500m	長森 結愛 (大沢野)
6位	水泳競技(競泳)	女子400mフリーリレー	アピア富山

全日本中学生ホッケー選手権大会

令和5年8月19日～21日 岡山県

順位	種別	選手・チーム名
2位	女子	蟹谷中学校

全日本中学選手権競漕大会

令和5年7月22日～23日 福井県

順位	種別	種目	選手・チーム名
3位	男子	ダブルスカル	大沢野中学校
4位	女子	シングルスカル	水上 桜来 (楡原)

公益財団法人富山県スポーツ協会役員等名簿

(令和5年7月1日現在)

役職名	氏名	所属団体等
会長	新田 八朗	富山県知事
副会長	喜多 進	(公財)高岡市体育協会 会長
//	蔵堀 祐一	富山県副知事
//	品川祐一郎	(公財)富山市スポーツ協会 会長
理事長	廣島 伸一	県生活環境文化部 部長
副理事長	水落 仁	県教育委員会 理事・教育次長
専務理事	東瀬 義人	(公財)県スポーツ協会 専務理事
常務理事	笹林 一樹	(公財)県スポーツ協会 常務理事
理事	池田やす子	県女性スポーツの会 副会長
//	老月 守	山野スポーツセンター 所長
//	大島 一恵	県教育委員会 保健体育課長
//	小林 福治	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 幹事長
//	島谷 達雄	県生活環境文化部参事 スポーツ振興課長
//	島津 豊	(公財)魚津市体育協会 理事長
//	西川 友之	富山大学 名誉教授
//	西本 幸夫	(公財)高岡市体育協会 専務理事
//	布村 忠弘	スポーツクター・県公認スポーツ指導者協議会 会長
//	平垣 伸明	(公財)富山市スポーツ協会 専務理事
//	光安 淳子	県女子体育連盟 会長
//	横山 直一	(公財)砺波市体育協会 専務理事・県スポーツ少年団 本部長

役職名	氏名	所属団体等
理事	米山 隆	国立登山研修所 所長
//	長田 一政	県スキー連盟 理事長
//	川島 茂	(一財)県陸上競技協会 副会長
//	佐伯 徳生	(一社)県水泳連盟 理事長
//	横井 憲治	(公社)県サッカー協会 専務理事
//	植野 聡	県ローイング協会 副会長
//	石田 義弘	県ホッケー協会 副会長
//	五十里勸司	県バレーボール協会 理事長
//	中浦 悟	県ハンドボール協会 理事長
//	楠 一雄	県柔道連盟 常任相談役
//	廣瀬 修	(一社)県ソフトボール協会 理事長
//	荒木 純	県バドミントン協会 理事長
//	寺 真喜子	県なぎなた連盟 理事長
//	山本 一登	県高等学校体育連盟 理事長
//	藤田 慎吾	県中学校体育連盟 理事長
//	弓部 裕明	県生涯スポーツ協議会 理事長
監事	高辻 則夫	県ソフトテニス連盟 理事長
//	白川 正秋	(公財)黒部市体育協会 副会長
//	松嶋 保子	県生活環境文化部 県民生活課 主幹

スポーツ // 文化活動 // ボランティア
団体活動のための補償制度

令和6年度 (2024年度) 保険期間 令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険

インターネットでかんたん加入

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下) ●スポーツ活動 ●文化活動 ●ボランティア活動 ●地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上) ●スポーツ活動 (指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C B	1,850円 1,200円
大人 (高校生以上) ●文化活動 ●ボランティア活動 ●地域活動 ●準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢 ●危険度の高いスポーツ (指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下) ●個人活動補償型 ●A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上) ●個人活動補償型 ●C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW	4,850円
大人 (高校生以上) ●個人活動補償型 ●B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注) C-B・CW-BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響もようやく出口が見え、延期されていた特別国民体育大会では、バドミントン競技成年男子で史上初の6連覇、少年女子カヌー競技での2種目優勝など、本県選手が大活躍しました。また、第19回アジア競技大会では、本県にゆかりのある18名の選手が出場し、金銀銅あわせて11個のメダルを獲得する活躍をされました。

今年も本県選手の全国や世界の檜舞台での活躍ぶりが、県民に勇気と感動を与えてくれました。活躍している選手の中には、「未来のアスリート発掘事業」修了生も多く、選手たちの今後の活躍にも期待が膨らみます。

2024年も本協会では、引き続き全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指した競技力の向上と、県民が安全かつ快適にスポーツができるようスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興に寄与していきたいと考えております。

最後になりましたが、広報誌「スポ協TOYAMA」の発刊に際しまして、ご多用の中、本誌へ寄稿・写真提供をしていただきました方々に、心から感謝とお礼を申し上げ、編集後記とさせていただきます。